「同じものにどう向き合っているか～因縁を知る智慧」

●爆弾と花火

第二次世界大戦の時、フランス女学生がナチスドイツ軍のために労働奉仕をさせられる『定められし運命』という映画をネット配信で観ました。女学生が先ず配属されたのは、弾薬工場でしたが、仲間の不手際で火薬が暴発して、痛ましい事故が起きます。

火薬ということから花火を思い出しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日本各地の花火大会が中止になっています。これは、大会を開催することにより、多くの人が出かけ、集まり、飲食を共にすることで感染者数が増えてしまうことを防ぎ、それによって医療関係現場の負担を少しでも減らそうという願いが込められています。

同じ火薬でも、夏の夜の花火大会は、火花の輝きばかりか、腹の底に響く音、行き交う人びとの浮き浮きした様子など、懐かしい思い出が心に残ります。

仏教の心理学ともいわれる唯識には、一水四見（いっすい し けん）という教えがあります。

同じ水も、天人の高見からは輝く宝の鏡、人間にとっては飲み物、魚はそのまま住み家、餓鬼という貪りの心に生きるものには血の膿に見えるというのです。つまり、同じものも、立場によって全く違って見えているといいます。

●線香花火の魅力

花火といえば、（NHKテレビの「サラメシ」に登場した）福岡県の花火職人、筒井良太さんは、日本に三社しかない国産線香花火を作る製造所の三代目です。

同社のサイトによれば、線香花火の火薬には宮崎産の松煙（しょうえん）という松の切株を30年以上寝かせたものを用い、花火の持ち手に使う紙には福岡県八女市の手すきの和紙が使われ、その和紙は草木染めで染色し、専門の職人の手によって一本一本丁寧に縒（よ）り上げられているといいます。

筒井さんは、線香花火の魅力を次のように語ります。

「一般に花火を点火する時、危ないから人は遠くに離れますが、線香花火は、風を遮るため、その瞬きを見つめるため、人と人の距離が近づきます」

言われてみると本当にそうですね。線香花火は、点火した時の風の流れ、昼の暑さを肌に残した人いきれ、周りにすだく虫の声、じっと見つめる瞳の中に映る輝きなど、心に優しい印象を残してくれるのだと思いました。

時には何かを破壊するほどの火薬は、外側に向かって大きな火花の爆薬にもなりますが、か弱い線香花火の火薬は、人の心の内側に向かってしっかりとした思い出を残しているように思いました。

同じ、火薬を使った製品（花火･爆弾）でも、その因縁の巡り合わせによって、人に与える影響は随分違うものになります。

●学徒動員という思い出

今、コロナ禍の影響で、小･中学校では、まだまだ、運動会も、遠足も、学芸会も、修学旅行も中止され、思い出に残る行事が減っています。

私の母は、1930年生まれで、戦争中、女学校を過ごした世代です。

当時、学徒動員で、畑を耕したり、海軍水路部の計算をした思い出をよく語ってくれました。

学徒動員とは、昭和の十五年戦争末期の1943年以降、深刻な労働力不足を補うため、中等学校以上の生徒が、政府により食料生産や軍需産業に強制的に駆り集められたことをいいます。つまり、勉強の代わりに、芋を掘ったり、工場で働かせたりしたのです。

昨年、2021年、文部科学省は、小学生に、夏休みの炎天下でも安全安心だから、思い出作りのため東京オリンピック観戦を要求しています。東京都教育委員会は、観戦しない児童を欠席扱いするとまで言いましたから、これは「動員」といえそうです。

同じオリンピック大会に向き合う時も、因縁の巡り合わせによって、私たちに与える影響は大きく変わります。

都内のある寺のボーイスカウトに、その寺の前を走る聖火ランナーの声援をさせる計画が持ちあがりました。

関係者は当初、問題にしていませんでしたが、スカウト自身やその保護者には、大会開催賛成の人もいれば、反対の人もいるという基本的な認識を忘れていたことになります。同じ大会も、人びとの心に大きな違いを生み出すという当たりまえのことを大切に見つめ合いたいと思います。

親鸞さまの教えに深く生きた詩人、金子みすゞさんの『私と小鳥と鈴と』には、

「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい」

というお念仏の味わい、そして、念仏の智慧のある姿があります。

浄土真宗本願寺派の「実践運動」には、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現」と示して、親鸞聖人の教えに生きる人に呼びかけています。

改めて、私たちや社会が、お互いに認め合える姿勢を大切にしたいと思いました。

合掌
万行寺第十八世住職　釋靜芳（本多 靜芳）

※ご縁のあったあなた！　第一水曜午後四時から六時の法話会「ナムの会」で『親鸞様･御和讃』を、偶数月第三水曜午後六時半から八時半の「聖典勉強会」で『親鸞様･御手紙』を学びにいらっしゃいませんか？　お待ちしてます（会費はいずれも資料･茶菓代として千円です）。
「ナムの会」は一月と十二月は休会します。